

令和六年度（二〇二四年度）入学式 式辞

不知火海を渡る風に心地よさを感じる、今日のこの良き日に、令和六年度入学式を迎えるにあたり、熊本県議会議員 荒川 知章（あらかわ ともあき）様、芦北町町長 竹崎 一成（たけざき かずなり）様をはじめ、多くの御来賓の皆様にご臨席を賜り、心より感謝申し上げます。

ただ今、入学を許可しました、七十八名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。御家族の皆様にもお祝い申し上げます。私たち、教職員と在校生一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

百年余りの歴史を誇るこの芦北高校は、地域と一体となり伝統を築いてきました。卒業生は一万六千名を超え、農林業経営や行政機関、J A、福祉関連施設など各界で中核となり、地域のみならず、全国各地で活躍をされています。本校の教育には大きな期待が寄せられ、その期待に応えるべく、農業科、林業科、福祉科がそれぞれに特色ある専門的な教育を実践しています。これからの三年間、皆さんと一緒に学び、歩いていきと考えています。

本校の校訓は「敬愛、勤勉、創造」です。周りの人を敬い愛する心、精神を集中して一心に勤める姿勢、一から創りあげていく力を重視しています。この校訓を胸に刻んでください。そうすれば高校生活、その後の社会生活においても、自分の中の基軸となり、ブレない力となるはずです。

また、教育スローガンは「私は挑戦する、夢を実現するために」です。夢は一年先、三年先、あるいは十年先に実現するものかも知れません。夢を実現するには小さな歩みの積み重ねが大切です。まずは、半歩進めば達成する目標を目の前に置いてください。半歩踏み出せば重なる自分の姿があります。その繰り返しが大変であり、進めば必ず今の自分より成長します。これから本校でそれぞれに挑戦していきましょう。皆さんの挑戦を支え、応援していきます。

ところで、私たちの生活に甚大な被害を与えた令和二年七月豪雨災害、八年前の熊本地震、今年の元日には能登半島地震が発生し、誰もが予想しなかったことが起きています。さらには、半導体事業に関連する巨大企業の進出でグローバル化や多様化が急速に進み、身近になっています。新入生の皆さんには、予想しないことに不安がるのではなく、前向きに捉える考えを持ってほしいと願っています。それが楽しい人生を歩むコツになるかも知れません。

遠くの景色を見ると視界が開け、気分が良くなります。それは泉が湧くように自の内なる力を湧き上げてくれます。皆さんの人生は、人や本などとの出会いと、様々な発見の連続です。皆さんには明るい未来が待っています。

保護者並びに御家族の皆様へ、改めてお祝い申し上げます。本日のお子様の御入学、誠におめでとうございます。本校は地元、芦北町より多大な御支援をいただき、安心して学べる教育環境が整っていることを是非ともお知りおきください。充実した教育活動で、生徒の皆さんの輝く姿を発信することが地域の元気となり、恩返しになると考えております。

本日から、大切なお子様と共に学んでいく上で、この場をお借りして保護者の皆様へお願いがございます。教育は学校だけでなく、学校にできることには限界があります。家庭と学校が互いを理解し合い、協力し合う関係でありたいと考えております。お子様のことで御相談があるときは、私たちと共有してより良い対応につなげてまいりましょう。お子様の成長を願う気持ちは同じです。これからお子様が経験するであろう、困難や悩みを乗り越えられるように、共に支え合い、高校生活を充実させるために、本校の教育活動に御理解、御協力を賜りま

すようお願い申し上げます。卒業を迎える日、立派に成長したと言えるよう、全職員一丸で取り組んでまいります。

結びに、本日入学された新入生の皆さんの高校生活がワクワクし、煌めくことを祈念し、式辞といたします。

令和六年四月八日

熊本県立芦北高等学校長 草野 貴光